



かごしま 市民のひろば

2010年(平成22年)第517号

人とみどりが
輝くまち
かごしま



市の人口(推計)
平成22年5月1日現在(前月比)

人口総数	606,153人	(+1,194)
男	281,224人	(+ 558)
女	324,929人	(+ 636)
世帯数	266,574世帯	(+1,586)



市内犬迫産の旬の春タマネギを使ったおいしいピーンズスープ

市立玉江小学校にて

■編集と発行
鹿児島市広報課
〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号
TEL.099-224-1111(市役所代表)
TEL.099-216-1133(広報課直通)
FAX.099-216-1134
Eメール
kouhou5@city.kagoshima.lg.jp

市民のひろばは点字版・音声テープ版も発行しています
配布を希望する人は広報課へ

■ホームページ(携帯版同じ)
<http://www.city.kagoshima.lg.jp>

バーコードリーダー付きの携帯電話で、右の二次元コードを読み取るとアクセスできます



■配布に関するお問い合わせ
南日本リビング新聞社
TEL.099-239-8124

【主な内容】

特集

- 市民のための「安心安全な質の高い医療」を鹿児島市立病院 8・9
- 市政総合
 - ・6月は環境月間
 - ・子どもミーティング参加者募集
 - ・市営住宅入居者募集
- イベント・講座 5~7
 - ・農業体験イン八重の棚田
 - ・桜島納涼観光船乗船券の前売販売
 - ・夏の地域公民館・サンエール講座
- 暮らしのガイド 10・11
 - ・リサイクル自転車フェア
 - ・設置はお済みですか 住宅用火災警報器
 - ・男女共同参画センター主催講座
- 健康・福祉 12
 - ・みんなで支える 介護保険制度
 - ・子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券の送付
 - ・みんなで取り組みませんか 地域猫活動
- すこやか鹿児島っ子 14・15
 - ・こんにちは赤ちゃん事業
 - ・平成22年度奨学生募集
 - ・子育て知っ得情報

楽しい給食で「食」を学ぶ “いただきます～す！”

「食」は心や体の健康を保ち、生涯にわたって生き生きと生活するためにとっても大切です。6月は食育月間。毎日の「食」について考える機会にしたいものです。
市内の小・中学校では給食を通して、子どもたちが食を大切に作る心や、食に関する知識、食事のマナーなどを楽しく学んでいます。

■入館者1000万人に向けて
「いおワールド」の愛称で親しまれているかごしま水族館が、おかげさまで900万人の入館者を迎えました。平成9年の開館以来、市民の皆さんや国内外からの観光客など多くの方々にお越しいただいた結果であり、大変うれしく思っています。同館の人気者と言えば、黒潮大水槽を悠然と泳ぐジンベエザメのユウユウやイルカ、ラッコですが、ほかにも、黒潮がたどる南西諸島の海から鹿児島湾の海にすむ魚を中心に約3万点を展示しています。中でも錦江湾に生息するサツマハオリムシの展示やタイヘイヨウアカボウモドキ(クジラ)の骨格標本など世界的にも貴重な展示コーナーもあり、鹿児島発の話題を全国に提供するとともに、学術的にも高い評価を受けています。今年「おたる水族館」との交流企画展を開催し好評でした。いよいよ来春には九州新幹線が全線開業します。今後も内外の水族館とも協力、連携して魅力ある展示を行うなど、入館者1000万人に向け、感動を提供し続けていきたいと思えます。



■ふるさとへの熱い思いにふれて
先月、「第13回渋谷・鹿児島おはら祭」が開催されました。踊りパレードでは、私も約2000人の踊り手の中に加わり一緒に鹿児島島の元気を発信できました。渋谷の街は、まさに鹿児島一色となりました。また、その翌週には神戸市で「第42回南国鹿児島島の物産と観光展」が開催され、郷土の食材や味覚、工芸品を展示販売した会場は連日大勢の買い物客でにぎわいました。私も鹿児島島の観光の魅力や特産品のトップセールスを行い、鹿児島への関心の高まりに手応えを感じました。そして今回も、渋谷のおはら祭や神戸の物産展会場で多くの郷土出身の皆さんから、ふるさとへの熱い思いや、市政への励ましの言葉をいただき、大変ありがたかったです。今後ともこれらの県外イベントを通して鹿児島島の魅力を全国にアピールし、郷土出身者がいつまでも愛着を持ち誇りに思える鹿児島市づくりに、市民の皆さんとともに全力で取り組んでまいりたいと思っています。

市民とともに



鹿児島市長
森博幸

(大切なものは保存しておきましょう)